

長崎倶楽部

No.38

2010.1.22

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 http://www.k2.dion.ne.jp/~nkenjin/ 発行人/光安 一夫

目次

● 巻頭インタビュー 29 / 境川豪章	1	● ふるさと遠めがね・長崎関連イベント予告	14
● 講演録 / 寺井一弘	6	● エッセイ	15
● かいしゃ訪問 / 東部重工業株式会社	11	● TOPICS	16
● 趣味あれこれ	12	● 新刊紹介	20
● 新人会員自己紹介・お悔やみ	13	● 図書紹介・HOT NEWS	21

題字：吉田 佳広

巻頭インタビュー

29

私と長崎

境川豪章

日本相撲協会
「境川部屋」
親方 元両国

大相撲への誘いは佐田の山師匠から直接です
高校の授業中に校長室まで呼び出されました



大相撲の九州場所は一年納めの場所。その場所直前に、出羽一門の境川部屋に親方を訪ねた。福岡県大野城市。太宰府インターを降りて十分ほどの距離にある。宿舎近くには、関取衆の名前を染め抜いたノボリがはためいている。「豪栄道」「若木山」「豊響」の名前が見える。

現れた親方はピシッとダブルの黒い背広できめている。稽古土俵の前で話を聞いた。(二〇〇九年十一月十一日取材・文責：堀憲昭、写真：宅島正二)

◆ ◆ ◆

**小結豪栄道を筆頭に
将来性ある力士が**

—— この宿舎は毎年決まっているわけでしょうか。
境川(◆) そうです。昨年なくなつた地主さんが相撲好きで、多くの古くからの支援者でした。造園業だったんですが、その敷地内に建つプレハブの宿舎を借りています。

—— いま部屋に在籍する力士たちは何人ですか。
◆ 力士が二十一名。行司が一名。チョンマゲを結う床山が一名、私をいれて二十三、四名の世帯です。舞の海がコーチできています。彼は多くの大学の後輩なので、部屋の師範代で若い力士に指導してくれています。

両親の実家はどちらも茂木の漁師でしたから
子どものころは小魚を骨ごと食べていました



いま境川部屋の関取は番付の上から順に……

◆ 小結の豪栄道ですね。幕内に岩木山、豊響がいます。今場所とはとくに十両昇進のかかった力士が数名いますので、部屋としてはまあまあです。楽しみのうより心配のほうが多いです(笑)。

場所前と場所中とは違うそうですが、場所前の一日の時間は。

◆プロフィール 境川豪章氏

本名 小林 秀昭
昭和37年長崎市茂木町生まれ。
長崎県立諫早農業高校卒。
昭和60年日本大学経済学部卒業後、大相撲出羽の海部屋入門。昭和61年十両昇進。62年新入幕しこ名、両国襲名。同年小結昇進。
平成5年現役引退し、年寄・中立襲名し、中立部屋創設。
平成15年境川親方(元横綱・佐田の山)と名跡交換。部屋名も境川部屋となり、現在に至る。

◆ 序二段は朝五時に起床。三段目五時半、幕下六時という具合です。たとえ三十分でも眠い朝の三十分の差は大きいじゃないですか。ここも番付の世界です(笑)。関取衆が七時半ごろ稽古場に降りてきます。私が六時すぎです。下の者から稽古をはじめ、関取がいちばんあとです。相撲の世界は年功序列ではなくて、強いものが優遇されるので(笑)。稽古が終わるとチヤンコ(食事)ですが、風呂も食事も番付が上から順番です。力の世界ですから、早くなりたきや、強くなれと(笑)。

親方も稽古場にマワシ締めて降りるんですか。
◆ 最近土俵には降りませんが、毎日稽古場で指導しています。からだの変化とか、ケガしてないかとか。ケガはいちばんこわいですからね。緊張感があるときはケガはありませんが、

気が緩んだときに一瞬でケガをする。治るまでには長くかかりますが、ケガは一瞬ですからね。

◆ 今場所の目標は?

◆ 九州場所は今年納めの場所ですから、いい形で終わりたいですね。なかでも勝ち越したいと十両昇進できるという力士がいますから、彼らには勝たせてあげたい。この部屋は九州出身の子が多いので、場所が終わると実家に帰ります。実家にお線香あげに帰るのに、いい形で帰りたいですね。

親方ご自身も実家に帰ることがありますか。

◆ 長崎や諫早には行くのですが、(茂木の)実家にはなかなか行きません(笑)。博多と長崎はクルマでも二時間ですから近いですからね。

◆◆◆ 茂木の小、中学校でずば抜けて大きい身体

いちばん最近実家に帰れたのはいつですか。

◆ いくつか(笑)。両親は東京にくるのを楽しみにしていますからね、極力実家には顔出さないことにしています(笑)。年に一回年末年始に東京に来てくれます。(親が)動けなくなったら週に一度は実家に帰るく

らいの気持ちはあります。

◆ 東京のご家族は?

◆ 男の子がふたりいます。上が中三で今度受験ですね。下が小学六年です。上がバスケット、下が野球で相撲の世界には関心がないようです。小学生のころはマワシつけて稽古場でぶつかり稽古なんかしていました(笑)。将来のことは本人たちに決めさせることにしています。

親方の子どもの時代の話をお聞かせいただきたいのですか。

◆ 小さいときから体はズバ抜けて大きかったですね。小学校、中学校は茂木です。実家は両親の家系はみな漁師でした。本来なら長崎の水産高校に行くのが筋だともうんですが、まっつり畑違いの諫早の農業高校に行きました。

相撲部のある高校ということですかね。

◆ 当然、当然。茂木には諫早農業高校の先輩とか、水産高校の先輩とか、両方いました。中学時代から、「水産にいけ」「農高にいけ」という勧誘はありました。どちらにも相撲部はありましたからね。

◆ 子どものころに地元の相撲大会などに出たことはありますか。
◆ 神社で相撲大会があつて、

帳面とか果物なんか賞品でもらっていましたね。

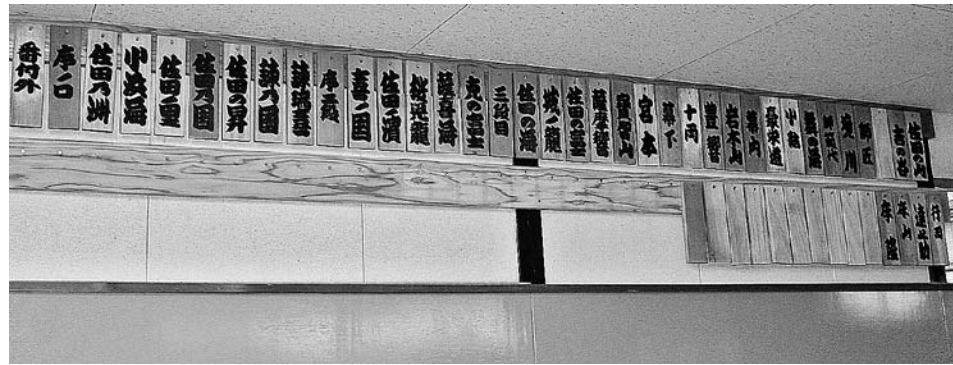
◆ ほかのスポーツは?

◆ こんな体していますが、(中学時代は)いろんな球技やっていましたよ。サッカーは部活でやりましたね。部活は大会のある夏に活動が終わるじゃないですか。そのあと、(相撲部出身の)先輩たちに、ムリやり相撲やられたという記憶があります。

◆ 身長は中学三年当時、もう百八十センチくらいありましたね。体重も百キロ近くありましたから、体生かしたスポーツというかと相撲になるわけですよ(笑)。

◆ 体格が大きいのはご両親のどちらかの遺伝でしょうか。
◆ 母親がむかしの人の中では大きいほうですが、親父はふつうですよ。私自身は、茂木の魚で育ったのがよかったのでしょう。小魚は骨ごと食べるのが当たり前でしたから。カルシウムたっぷりの栄養がいきといたのかもしれない。

◆ 相撲以外の勧誘は?
◆ 柔道も誘いがあつた。でも相撲に比べて、判定勝ちという意味がよくわからなかった。その点相撲は勝ち負けがわかり



◆ ◆ ◆ 日大では花籠部屋の 力士たちと稽古した

やすい。それで諫早農業高校に
すすむことに決めました。

—— 高校での成績はいかがで
したか。

◆ 長崎県内ではいつも団体優
勝していましたが、別に嬉しく
もなかった(笑)。目標はやつ
ぱり全国一ですから。個人戦は
全国大会ではベスト8ばかり

で、ベスト4にいったことがな
いんです。もうひとつ勝つと三
位というところで勝てなかつ
た。九州大会でも三位が最高で
優勝できなかった。高校のとき
は長崎県以外ではこれといった
成績はありません。

—— その時代の強かったライ
バルはどうしていますか。

◆ プロ(大相撲)にきたのは
いないですね。大学へはいっ
たようですが、そこでぼくが伸
びて追い越したんでしょうね。

—— 大学はどちらですか。

◆ 日大ですね。日大といえば
アマチュア相撲界では名門です
からね。

—— 推薦入学ですか。

◆ いちおう試験は受けました
が、高校で勉強なんかしてませ
んからわかりませんよね(うわ
ーはっは、は、は、と大爆笑)。

経済学部で、神田三崎町に四年
間通いました。相撲部の合宿所
が阿佐ヶ谷駅近くでしたから中
央線一本でした。

—— 同期入学は何人でした
か。

◆ 十二、三人ですかね。四年
生まで入れると五十人弱の部員
数でした。四年生のとき、キャ
プテンをやらされて全体をまと
めることになりました。

—— 大学でプロに進むまでに
伸びたのはなぜですか？

◆ 合宿所の隣が花籠部屋だつ
たんです。当時、荒勢関が関取
でいましたが、日大の先輩でも
あつたので、大会前なんかにな
ると、稽古してもらっていました。
日大の相撲部はレギュラー
クラスになると花籠部屋の幕下
あたりと遜色がない。お互いに
いい稽古になりました。

—— 大学時代の成績は？

◆ 大学での最大のタイトルは
インカレですが、二年、三年、
四年と三年間団体優勝しまし
た。個人戦でも、二位、三位と
いう成績でした。大学ではいろ
いろの大会が多かったので、タ
イトルは結構とりましたね。い
まもすごくいい思い出です。

◆ ◆ ◆ 佐田の山師匠を慕って 出羽の海部屋に入門

—— 大相撲に勧誘されたのは
いつごろですか。

◆ 話自体は高校のころからあ
りましたよ。でも高校時代はプ
ロは別世界の存在でしたから憧
れさえもありませんでした。諫早
農高に当時の出羽の海親方、私
の師匠ですが、佐田の山師匠が
勧誘にこられました。

—— 直接、名指しで勧誘です
か。

◆ 授業中に呼び出しがありま
して、「相撲部の小林、校長室

まで来なさい」というので、な
んだらうと思つていったら師匠
がこられていて、「出羽の海部
屋にきなさい」と勧誘されたん
ですが、プロに行くのを断るの
に、「大学進学決めています」
といつて、その場をきりぬけま
した(笑)。高校二年のときに
したから、別に大学に行くこと
が決まっていたわけでもなかつ
たんです。

—— 親方はなんと。

◆ 「大学を卒業したら来なさ
い」といわれて、「そのときは
お願いします」といって、口約
束した形だったんです。

—— そのときの勧誘が大学を
卒業するときに決め手になつ
た？

◆ そうですね。大学のときに
輪島さんとかスカウトの話はい
っぱいありましたけど、高校の
ときに初めて声をかけてくれたの
は師匠ですから、(長崎の)同

県人でもあるし、出羽の海親方
に対して筋をおすのが当然と
いう気持ちがありました。

—— そのときはプロの世界へ
の距離は感じなかった？

◆ 花籠部屋の力士たちと稽古
していて、プロとの差がどうい
うもんかという認識はありまし
たね。勤め人にはなれないし
(笑)。学生時代、ムリだと思つ
たのは、満員電車で夏でもネク
タイしめて乗っているサラリー
マンの姿見てて、「この人たち
は偉いな。俺は絶対こんな生活
はイヤだ」と思っていましたか
ら(笑)。

—— それで出羽の海部屋に入
門されたのは何年ですか。

◆ 昭和六十年三月です。幕下
付け出しというスタートでし
た。

—— それからの昇進の具合は
どうでしたか。

◆ 十両まで一年かかりまし



入門当時のしこ名は小林山でしたが、幕内に
あがると「両国」を師匠からいただきました



た。デビューの初土俵は足のウラの傷からばい菌がはいって、とても相撲とれる状態ではなかったのに出て負け越して三段目に落ちたんです。

—— 最初のしこ名は？

◆ 小林山です。本名が小林なので、師匠から初土俵二日前に、「おい小林山でいくぞ」といわれて、「は、そうですか」という具合です。よその部屋に小林という名前がいるので、山をつけたという、ま、安易な命名ですが(笑)。しこ名なんて、自分が強くなって大きく育てるもんだと、そのとき師匠にいわれました。「おれの佐田の山だつて、本名の佐々田の佐をひとつとつてつけたんだ」といわれて、「あ、そうなんだ」というようなもんです(笑)。

◆ ◆ ◆ 両国というしこ名は 長崎ゆかりの由緒が

—— 両国というしこ名になったのはいつですか。

◆ 幕内に上がってからです。十両で一年とつて昇進するときでした。両国というしこ名はぼくで七代目です。先代、先々代とも長崎の人なんです。先々代は出羽の海親方まで継いだ方です。師匠が新入幕のときにおっしゃるには、先代も先々代も長

崎の人だから、幕の内にあがったら襲名させてやりたいと、つねづね考えていたとか。古い先輩から聞くと、両国というのは由緒あるしこ名だというんです。

—— それだけ期待されていた？

◆ ぼくは十両も小林山で出ていて、それでいいと思っていました。新入幕が決まったときに師匠が、「おい、来場所から『両国』でいくぞ」というので、「ぼくは小林山で結構です」と断ったんです。そしたら「もう決めているんだ。由緒あるしこ名なんだよ」といわれて、「わかりました」というしかなかった。両国というしこ名はぼくで四十七年ぶりだとかで、最初、由緒や価値が全然わからないわけですよ。

—— そんなに意味合いが深いしこ名なんですね。

◆ 初代の両国さんというのは、江戸時代に、いまの島根と鳥取の県境からでた力士で、当時は藩がお抱え力士をかかえる時代だった。そのとき、両方の藩が「こちらの力士だ」「いや、こっちだ」と言い争ったそうです。それで、「じゃ、両国にしよう」というのが、このしこ名の語源なんです。東京の両国も下総の国と武蔵の国の境あたり

水とともに輝く



三輝工業株式会社

代表取締役 木戸紀雄

本社
〒103-0004

千葉工場
〒289-1107

佐倉工場
〒285-0812

東京都中央区東日本橋 3-10-14 サンライズ橋 8F
☎03 (3667) 3041〔代〕 FAX03 (3667) 8268
E-mail:ho@sanki.biz-web.jp

千葉県八街市八街は 1-59
☎043 (443) 9711〔代〕 FAX043 (443) 9884
E-mail:sanki-fac@smile.ocn.ne.jp

千葉県佐倉市六崎 560-3
☎043 (481) 2101〔代〕 FAX043 (481) 2102
E-mail:sakura@sanki.biz-web.jp

だったそうです。

—— 由緒正しいですね。

◆ 最近では、先代、先々代と長崎県の力士が名乗ったというところから、師匠が長崎県出身のばくにとそのしこ名を用意してくれたいというので、大変ありがたいことです。亡くなられた昭和天皇は相撲ファンでいらつしやいましたが、ぼくが両国を名乗るようになったときに、「なつかしいしこ名がもどってきたね」とおつしやつたそうです。

—— 昭和天皇に直接お目にかかったことは？

◆ 天覧相撲の折、貴賓席にいらつしやるときに土俵からご挨拶する程度でしたが、亡くなられたときの大葬の礼などの儀式には参列しました。大雨でしたがね。二子山親方が当時の理事長で、うちの佐田の山の師匠が事業部長でしたが、幕内の全関取衆が参列しました。その前に倒れられたときのお見舞いの記帳にもいきました。

◆◆◆ 幕内力士時代から部屋もち親方まで

—— 入幕して何年在籍しましたか。

◆ 三十数場所でしたから五十年ちよつとですね。腰の持病が治らずに引退せざるをえませんでした。

した。

—— 最高位は小結でしたよね。

◆ 入幕して三場所目には三役にあがったんですよ。入幕二場所目に大関三人に勝った。その相手はテレビでしか見たことのないような力士でしたから緊張する反面嬉しかったですね。当時としては早い昇進でした。大学時代一度腰の大ケガをして、いちど相撲を断念しようかと考えた時期もあっただけに、短い土俵人生でしたが、思いつきやれたという思いがあります。

—— 境川部屋として独立したのはいつですか。

◆ 引退したとき最初は「中立（なかだち）」という年寄り名を名乗りました。栃海さんが名乗っていたのを、ぼくが引退するときに譲ってもらった。その後、師匠が理事長職に専念するということになって、元鷺羽山関が名乗っていた「境川」と「出羽の海」を交換して、師匠は境川親方として理事長職に専念されました。出羽の海親方はいまも鷺羽山関です。師匠が定年になるころ、「境川」をぼくに名乗らせたいというまわりの機運が高まって、ぼくが師匠にお願いにいつて襲名することになったわけですね。

—— そこで部屋もちの親方と

して独立した？

◆ いえいえ、中立部屋として弟子を育てていました。岩木山が当時はもう関取でした。

しかし、周りの声で境川親方を名乗るほうがいいということになって、「これも何かの縁」と考えて、平成十五年に境川部屋に変わりました。おかげさまで順調に関取も増えていきます。いま幕内力士が三人ですから。

◆◆◆ 故郷長崎のことにはなんでも協力します

—— この部屋にはいま長崎県出身力士は何人いますか。

◆ 八人います。

—— 多いですね。

◆ 県内各地からきています。長崎市一人、五島から一人、大村二人、諫早が二人、加津佐が二人。佐田の山の師匠からいただいた「佐田」を名乗っているのは、ほとんど長崎県出身ですよ。偉大な親方にあやかっただけで強くなつてほしいですが。

—— いま佐田の山の師匠はどうなっていますか。

◆ いまは定年で市川のご自宅で趣味に時間をさいて暮らしていらつしやいます。多趣味ですよ。全国の山歩きされたり、万葉集の会にはいられたり。六十歳からスキーはじめて、初

心者なのにいきなり最上級コースまで進んだそうです。好奇心がいまだに旺盛な方ですね。本は好きで無類の読書家ですね。

—— 長崎からは時々差し入れとかはありますか。

◆ きのうチャンポンと皿うどん送つてきましたよ。初日の前の土曜日に新上五島町の町長さんが福岡に用事でこられるんですが、「五島うどん」をPRしてくれと頼まれています。五島うどんは鍋に入れると最高で、部屋の力士たちの大好物です。

—— あくまでも師匠を手本にされているということでしょうか。

◆ いろいろ問題に直面したときに相談にいったこともありまう。自分で迷ったりするとき、師匠だつたらこうするだろうな」と考えて判断するようにしています。師匠は世界一の親分で尊敬していますから。すべて師匠の教えです。「男らしく、力士らしく」と…。

—— きょうはどうもありがとうございました。今場所がんばってください。

◆ やつぱり、（弟子たちに）ひもじい思いをさせてはいけません。

（了）



佐田の山師匠から学んだ相撲道の教えはいま弟子を厳しく育てることに生かしています

文化講演会

〔講演日：平成二十一年十月十五日〕

「裁判員制度の意義と課題」

講師 寺井 一弘氏

(日本司法支援センター 理事長)

はじめに

身が現在このような仕事に携わっていることに大きく関連しているからです。

本日、長崎県人クラブの講演会において裁判員制度をとりあげていただき、私を講師に招いて下さったことに深く感謝申し上げます。

ご承知の通り、国民が直接司法に参加する裁判員制度は平成二十一年五月二十一日からスタートしてこれまでに十七件の判決が下され、賑やかに報道がなされておりますが、民間における任意団体がこうした形で真正面からこの問題に向き合っていたいたことはきわめて貴重であり、深い敬意を払っております。今日は長崎出身者としての自覚を新たにして、与えられた時間、精一杯お話しさせていただきますと思っています。

亡き母が私の原点

―簡単な自己紹介―

私は昭和二十年八月、三歳の時に、中国の満州で終戦を迎えました。満鉄に勤めていた父と中国で旅館の女中をしていた母との間に生まれたのですが、戦争が終わった時に、父と母、そして、生まれたばかりの妹の四人で満州にいました。戦争に敗れた日本人はまことに惨めなもので、生きて日本に帰れるかどうか全くわからない状態であったようです。そこで、私の父は、私をどうしても死なせてはならないとの一心から、中国人の「万さん」という方に私を預けたとのことでした。いわゆる「残留孤児」であります。幼い子どもを預かってくれる人はいなく、また六歳以上の子どもは大人と一緒に歩いて帰れるということで、「残留孤児」の対象になったのは三歳から五歳までの子どもであったようです。そういう事情から一旦中国人に託されたようですが、私はその人の手を振り切つてリュック

サック一つを背負い波止場に向かう両親の背中を追つて必死に歩き続けていたとのことでした。一キロぐらい経つて、後を振り向いた母が、百メートル後に歩いてくる私の姿を見て「この子は、たとえ生きて日本に帰れなくとも、殺されることがあったとしても自分と一緒の運命を許してくれるはず。絶対にこの子を中国に残さない」と言つて胸に抱きしめてくれたそうです。父は、「下手な感傷に浸つてはいけません。少なくともこの子だけは生かすんだ」と説教したそうですが、母は絶対私を離さなかつたということであつて聞かされました。その母は今から十三年前「くも膜下出血」で急死してしまいました。中国の地で私を振り返つて長崎まで連れ帰つてくれた母の存在が私の人生を決定的に規定したのだと思つています。この年齢になつて母のことを語るのには実に気恥ずかしいのですが、私の人生は母を抜きに語ることはできません。そして、母は、私の存在そのものを支えてくれていたのですが、それとともにその教えは強烈なものでした。母は長崎の片田舎の貧農の長女で小学校を出るのがやつとでしたが、人間を「学歴」や「性別」や「貧富の違い」などで差別するのを極度に嫌つていました。母は「貧困と差別と戦争を憎むこと」を私に教え続けまし

た。私が現在生きてこのような仕事を続けていることができるのはまさしく母のおかげであります。そして、私は中学三年の卒業式の日に担任の教師に、「平和と弱い人たちのために役に立つ職業は何でしょうか」と聞きました。その先生は即座に「弁護士かもしれない」と答えてくれたのです。そういうことで、私は長崎西高に登校した最初の日の一年一組のクラス会で将来の仕事を弁護士にすることを表明して皆から笑われた記憶が残っていますが、幸いにも、昭和四十二年に司法試験に合格し、その夢を果たす幸運に恵まれました。最近出版された五木寛之さんの「人間の運命」を読んで改めて自分の人生というものを考えさせられているところです。

司法改革へのかかわり

弁護士になつた私は、バックにいて目を光らせている母に叱られないようにできるだけ誠実に仕事をしていくように心がけました。「金権弁護士」へのいろいろな誘惑もありましたが、「困っている人」「弱い人」のためのお手伝いが少しでもできるようにとの思いをもつて歯をくいしばつてやつて参りました。他の弁護士さんと比較してかなり多くの刑事事件を担当してきましたが、平成十年に日弁連刑事弁護センターの委員長を経て日弁連事務総長に就任致しました。丁度その頃「政治改革」「行政改革」に引き続いた「司法改革」の動きが激しく展開されはじめた時期でした。私も日弁連執行部は、「市民のための利用しやすい司法」を実現するためにさまざまな研究や取組みを重ね、「司法改革ビジョン」を発表するなど具体的な提言を行いました。その中に今回の裁判員制度のもとになった「陪審制度の導入」が大きな柱として据えられておりました。

これまでの司法はどうであつたか

そもそも司法というのは、人間社会の中で必然的に生じるさまざまな紛争を法的に解決に導いたり、大きな権限を持つ多数の行政機関をチェックしたり、違憲の法律の制定や処分を正しく是正して憲法の精神を社会生活の中で拡充していくなどの役割を有しているのですが、これまでは一言でいうとその位置づけや機能はきわめて限られた狭いものでありました。江戸時代までは基本的に「司法は不存在」と表現してもよい状況であり、落語やテレビで見える大岡裁きや遠山の金さんの見せる人情に充ちた世界は庶民の夢を表現したものに過ぎませんでした。明治時代においても富国強兵の国策の下、



ひたすら軍事官僚を中心とした行政国家としての体制強化がはかられ、司法は文字通り「小ぶりが適当」との位置づけしか与えられず、いわゆる「小さな司法」としてスタートさせられました。第二次世界大戦に敗れた戦後日本となって、新憲法のもと、ようやく三権分立が確立され司法にも一定の改革が加えられましたが、基本的には「小さな司法」が継続され、今日まで至ることになりました。十数年前、朝日新聞の論説主幹であった佐柄木俊郎氏は「わが国の司法は果たすべき役割の二割しか果たしていない」とする「二割司法」という言葉によって、私たちの司法のあり方を喝破されましたが、その数字の実証的裏付けはともかく、司法

の現状を見事に評価したものと見て、以来事あるごとに語り継がれて参りました。つまり、法的な紛争をかかえている国民・市民の八割が泣き寝入りさせられたり、暴力団の介入などによってアウトローの世界に追いやられても仕方がない立場におかれており、透明で公正な法的解決という恩恵を受けていないという実態を告発されたのであります。

これからの司法は どうあるべきか

こうした実態を踏まえ、「政治改革」「行政改革」に引き続いて「司法改革」も狙上にのぼってまいりました。前述しました如く、私ども日本弁護士連合会も平成二年の第一次「司法改革宣言」以来、「司法を真に市民のものにする」ため数々の努力を尽くしましたが、市民団体や経済界、労働界、そして各政党からもそれぞれの立場や理由をもとに司法を大きく改革していこうとの機運が高まってきました。それらを受けて遂に平成十一年七月、内閣の中に「司法制度改革審議会」が設置

されました。この審議会は佐藤幸治京都大学名誉教授を会長として十三名の各界代表（学者五人、弁護士・裁判官・検察官経験者から各一人、経済界二人、労働界一人、消費者団体一人、作家一人）から構成されていましたが、実に精力的に会合を開催して（合計六十三回）、平成十三年六月にその議論の成果をまとめて意見書を世に発表しました。もし、ご興味と関心ある方は是非ともこの意見書を読んでいただきたいのですが、ここではまず三つの観点が示されました。一つは、日本の社会において法を「血肉」化させること、二つは、国民一人ひとりが統治客体意識から脱却し、統治主体意識を持つて社会に参画すること、三つは、法曹（法律家）が「社会生活上の医師」としての役割を果たすことにありました。

そして、審議会意見書は、これらの観点からまず、第一に「国民の期待に応える司法制度」（制度的基盤の整備）に改革することとし、司法をより利用しやすく、分かりやすく、頼りがいのあるものにするために民事司法の改革、司法の行政に対するチェック機能の強化、刑事司法の改革をあげました。

第二に、「司法制度を支える法曹の在り方」（人的基盤の拡充）の改革をあげ、社会の法的需要に十

分対応できるよう法曹人口を大幅に増やし、法曹養成に特化した大学院を設置することとしました。第三に、「司法の国民的基盤の確立」（国民の司法参加）に向けた改革として裁判員制度を提唱しました。審議会委員の中には、「裁判員制度だと結果の予測が不可能になる」「プロの裁判官に裁かれる方が安心である」などの強い反対意見がありましたが、これを超えることになりました。

こうして、司法改革の大綱と裁判員制度の導入が定まったのであります。

裁判員制度が 導入されたいきさつ

「裁判員制度」の導入を基礎づけたのは前述した内閣に設置された司法制度改革審議会の意見書でありましたが、それを促したものは主として二つの要因が強かったものと私は考えております。

まず、審議会意見書のこの部分に関する説明をご紹介したいと思えます。少々難しい言葉を並べていますが「国民は、司法の運営に主体的・有意義に参加し、プロフェッションたる法曹との豊かなコミュニケーションの場を形成・維持するように努め、司法を支えていくことが求められる」「二十一世紀のこの国の発展を支える基盤は、究極において、統治主体・権

利主体である我々国民一人ひとりの創造的な活力と自由な個性の展開、そして他者への共感に深く根ざした責任感において他にないのであり、そのことは司法との関係でも妥当する」としており、日

本という国では国民が統治の主体であり権利の主体なのだから、司法の場でも国民一人ひとりが責任持つて発言していくべきだ、ということ強調しているのだと思われまます。私はこの意見書を読んだ時、「戦後五十五年以上も経つて、国民主権を高らかにうたつた新憲法のもとにありながら、何を今さら統治主体は国民なのだという当たり前のことを確認しなければならぬのだ」という気分にもなりましたが、実際問題としては、わが国ではその程度の憲法意識しか醸成されてこなかったのだらうな、とも思い知らされました。要するに審議会意見書は「国民主権の国だから、司法に関与することは国民の責任である」ということを訴えているのでした。裁判員制度が制定された本質的意義が、ここにあることは明々白々です。

次は、職業裁判官によるこれまでの裁判に対する課題と反省であります。ご承知の通り、日本の裁判官は通常、大学の法学部を卒業し、司法試験に合格して司法修習を受け、そこで法律家の資格を取

得して、そのまま裁判所に勤務することになります。そこからは裁判所のキャリアシステムに則って、九年間は「判事補」として実務経験を重ね、十年目になって一人で裁判をすることのできる裁判官となります。しかし、日本の裁判官は一般市民からかけ離れたところで生活し、ほとんどの裁判官が裁判所と官舎を往復するだけの毎日を送っています。裁判官は市民と交流してはならない、というきまりはないのですが、実際的にはそういう機会はほとんどないものと思います。皆様方が居酒屋やスナックなどで食事をしたり、歌ったりしている時に、同じ店で裁判官に出会うことはめったにないことでしょう。そうしたとても狭い世界の中で暮らしている品行方正の職業裁判官が、現実の生きた社会を熟知し、その中で日常的に惹起している紛争や事件の内容について的確な事実認識と判断が十分に可能であるかどうか、そのことはかなり前から指摘されてきておりました。わが国社会はこれからますます国際化複雑化されていくことは必至であり、その中で日々生じる種々の紛争や事件、それが民事事件であれ刑事事件であれ、その背景はどろどろとした人間関係に支配されたり、影響を受けたりする底の深いものであることは明らかであります。そうした広い社

会の中で起きた紛争を裁いていくためには、現実社会の実態を十分に把握し、事件の当事者の痛みや苦しみを自らの問題としてしっかりと理解できる素養が何よりも求められます。エリートであり専門的知識が豊富な職業裁判官も立派な方々が多いのですが、裁判がより充実した豊かなものになっていくためには、生活の中でのみずみずしい感覚を有し、「事件当事者の隣人」としての立場でものを考えることのできる市民の力がどうしても必要となります。つまり、職業裁判官だけの裁判では、判決に社会常識を反映させるという点で大きな限界があり、市民がじかに裁判にかかわって市民の目線で判断に加わることになれば、これからのわが国司法がしっかりと大地に根を下したものになるにちがいない、という期待がかけられたのであります。

裁判員裁判を支える法テラス

ところでさきほど、司会者の藤島さんから（実は藤島満年さんは私の高校の先輩であり、長崎西高

在京同窓会の会長も私の一期前につとめられた方です）、私が現在、日本司法支援センター（愛称：法テラス）の理事長をつとめていることをご紹介いただきましたが、実はこの法テラスも裁判員裁判に深い関わりを持つ組織でございます。

本日はこの法テラスそのものについて詳しくお話する時間はありませんが、若干この組織をご紹介しますことをお許し下さい。

私はさきほど「司法制度改革審議会」の意見書のお話をしましたが、それを受けて総理大臣を本部長とする「司法制度改革推進本部」が設置されました。そして、その組織には「顧問会議」もおかれたのですが、その「顧問会議」は平成十四年七月に声明を發表し、二一世紀の日本を支える司法の姿として三つの「F」を提唱しました。その三つとは、国民にとって身近でわかりやすい司法（Familiar）、頼もしく公正で力強い司法（Fair）、利用しやすく速い司法（Fast）でありましたが、その後この精神のもとに「総合法律支援法」という法律が衆参両議院の全会一致で成立致しました。その法律は第二条で「民事、刑事を問わず、あまねく全国において、法による紛争の解決に必要な情報やサービスの提供が受けられる社会を実現する」との目的を明示し、

それを進める組織体として、日本司法支援センター（法テラス）が設立されたのであります。「法テラス」は法律に定められた五つの本来業務（情報提供・民事法律扶助・国選弁護関連業務・司法過疎対策・犯罪被害者支援）を遂行しておりますが、その中の国選弁護関連業務が裁判員裁判と深く結びついているのであります。

日本における刑事裁判は年間約十万件と言われますが、そのうちの約七割の事件について法テラスと契約をしている弁護士が裁判所によつて国選弁護人に選任されて弁護活動を担っていくこととなります。私は本日配布させていた「法テラス」の広報誌で「裁判員裁判のスタートによせて」と題する文章を書いておりますが、私も法テラスは、歴史的とも言える裁判員裁判を真に充実させていくために質の高い国選弁護人を確保することを使命としており、それに向けて努力をしているところでございます。

裁判員制度の内容

さて、これからは、いよいよ裁判員裁判はどんなものであるのか、その内容についてお話をさせていただきますことに致します。これも本日資料として配布しておりますが、最高裁判所が作成した「裁判員制

超音波洗浄器

アイワ医科工業株式会社

代表取締役 本田武利（諫早市高来町出身）

〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-4
電話：03-3814-2291（代）
FAX：03-3814-2197

- * 超音波洗浄器製造一筋40年。
- * 医科・歯科・理化・工業・宝飾等多方面の業界において活躍。
- * 硝子器具・手術器具・機械部品等あらゆる分野の精密洗浄に最適。
- * 全80機種 of 標準製品を在庫。



度「ナビゲーション」は、非常によくできた解説パンフレットであります。これを後ほどゆつくりお読みいただきたいと思っておりますが、ここではその要点について簡潔にご説明させていただきます。

まず、裁判員になる資格ですが、二十歳以上の有権者（衆議院議員の選挙人名簿に登録された人）の中から、くじにより無作為に選ばれることになっております。そして裁判員は原則として事件ごとに六人が選任されて職業裁判官三人と一緒に合議体を構成することになります。どれくらいの割合で裁判員となるかは、その年度の刑事事件の数によって変わってきますが、補充裁判員を一件につき二人

選任すると仮定して試算しますと、一年間で約五千六百人に一人が裁判員又は補充裁判員に選任される計算になります。（補充裁判員は、裁判員に何か事故などがあつた場合の予備としての役割を果たすこととなります）。すべての有権者が裁判員の資格を持つことが原則ですが、裁判員は司法という大切な国の作用に直接関与する非常勤の国家公務員ですので、国家公務員になる資格のない人や司法作用に関与することがふさわしくない禁錮以上の刑に処されたことのある人などは裁判員になれないと定めています。また広い国民の良識を裁判に反映させるという裁判員制度の趣旨から、裁判官、検察官、弁護士などの法律専門職も除

外され、三権分立への配慮から国会議員が、従事する職務の特殊性などから自衛官などが裁判員の職務に就くことを禁止されています。

以上の条件以外の人全員が裁判員になることを断れないのか、という点と決してそうではありません。もとより広範な国民の参加によりその良識を裁判に反映させるという裁判員

制度の趣旨から、法律上裁判員になることは義務とされていますが、国民の負担が著しく大きなものになることを回避するため、法律や政令で、辞退を申し立てることができる事由が定められています。つまり、「裁判員の職務を行うことが困難と思われるやむを得ない事情」の場合には辞退できるということになるので、重病やケガのため裁判所に出頭できない人、程度にもありますが介護や養育をしなければならぬ人、他の人に代わってもらえない大切な仕事のあつて人、父母の葬儀など社会生活上の重要な用務があつて他の期日に変更できない人などが考えられます。七十歳以上の人、毎日のように通学しなければならぬ学生さんなどは当然辞退ができます。くじで選ばれた裁判員の候補者には呼び出し状が送られますが、その際、質問状も同封されていますので、その書面に正直なことを書いて提出していただければよいと思います。

次に裁判員が扱う事件はどんなものか、という点ですが、一言でいうと重要事件、主に死刑又は無期の懲役（禁錮）にあたる罪の事件です。これまでの経験だと強盗致傷事件が一番多いと思われると思いますが、このほか殺人、現住建築物放火、強盗致死傷、危険運転致死、通貨偽造などの事件が対象となります。

裁判員制度の歴史的意義と課題

実際に自分が裁判員になった時のことを想定しますと、選任手続や裁判員の具体的な仕事の内容、裁判員の期間中の生活の過ごし方、国からの手当の支給、守らなければならない事項など大切なことが沢山ありますが、それらを話しましたらさらに時間がかかりますので、その点についてはさきほどご紹介した「ナビゲーション」をお読みいただくか、別途私の方にお問い合わせいただければ有難く思います。

時間が迫ってきましたので、最後のまとめに入りますが、私はこの裁判員制度の歴史的意義については是非とも語らせていただきたいと思っています。

あるいはご承知の方もおりかと思いますが、先進主要国の中で裁判に市民が参加していない国はわが国、日本だけなのです。アメリカ、イギリスは市民十二人だけで直接事実認定する「陪審制度」が定着していますし、フランス、ドイツ、イタリアなどのヨーロッパ諸国の多くは職業裁判官のほかに数人の市民が参加して合議によって判決を決める「参審制度」を採用しています。日本にもかつて大正デモクラシーの気運が高ま

る中、原敬内閣の下で陪審制度が法制化され昭和三年の施行に至りましたが、その後太平洋戦争に突入したため昭和十八年に停止され、現在までそのままとなっております。戦後になつても、この陪審制度復活の議論がなされませんでした。戦後、ようやく本年、六十六年ぶりに「裁判員制度」と衣替えして市民の司法参加が実現することになったのであります。

これまでの日本は、欧米諸国と違って、いわゆる「市民革命」の経験を持っていない国であることも起因して「お上意識」がきわめて強固で、いまだ裁判も市民にとって「お上によるお白洲」と考える傾向がしぶとく残っております。そうした時代状況の中で、今回、国民・市民が自ら国の主人公として、主権者として司法にかかわることになった歴史的意義は言葉に尽くせないほど大きなものがあると考えられます。これこそ、わが国が真の民主主義国家として成熟していくための根幹条件であり、重要な第一歩としての意味があるからです。従つて私は、この「裁判員制度」を何としても成功させなければならぬと考えております。

ただ皆様方もよくご存知のようにこの「裁判員制度」に対する評価は分かれていて、さまざまな疑問や批判も出されております。そ



達国民一人ひとりが、必要とされる最低限のコスト、犠牲を払わなければならないということなのです。わが国社会は今日、政治も経済も社会も混沌と停滞の中にあり、格差も大きく広がって、一人ひとりの人間がバラバラにされつつある悲しい現実に立ち至っています。このような時であるからこそ、一人ひとりが知恵と

大学法学部長）がそのための活動を始めようとしています。市民の方々の声を正しく反映させて、さらにこの裁判員制度を充実発展させていく仕組みが用意されていますので、これをしっかりと生かしていかなければなりません。今という時代は、私達一人ひとりに対して愚痴や反発などを乗り越えて未来に向けてのアグレッシブで創造的な姿勢と前向きで地道な取り組みを強く求めております。これに応えていけば必ずや素晴らしい市民のための司法と世界に誇れる民主主義社会を構築していけるものと思っています。

の中でも「自分が生きていくことさえで一杯一杯なのにどうして他人のことまで考えなければならぬのだ」「負担が大き過ぎて裁判員として活動できる条件などない」という切実な意見は身につきまされるほどよく理解できるので

力をがつちり合わせて素晴らしい国づくりのために汗をかくことが求められていると思われま。その意味で、「裁判員制度」へのかかわりは国民一人ひとりが根底において問いかけてられている重要な問題ということであり、わが国社会を国民が真の意味で主人公となり、全ての人が自由で豊かに人間らしく生きることのできる素晴らしい本場の民主主義の国に成長させていくことができるかどうかの「試金石」であると確信してやみません。法律は、裁判員制度施行後三年を経過した場合において、状況についての検討を加える必要措置を講ずることができると定め、既に「裁判員制度に関する検討会」（座長は井上正仁東京

私は浅学非才の身ではありませんが、残された人生を亡き母に恥じることがなきよう、粉骨砕心、全力尽くして頑張つてまいりたいことを同郷人の皆様方に固くお約束し、拙い話を閉じさせていただきます。長い間ご清聴有難うございました。

プロフィール

◆寺井一弘氏

昭和16年生まれ。
長崎西高卒。
昭和39年中央大学法学部卒。
昭和45年弁護士登録。
昭和64年日本弁護士連合会常務理事。平成10年日本弁護士連合会事務総長。平成18年日本司法センター常務理事。
平成20年日本司法センター理事長に就任し現在に至る。

世界が認めた壱岐焼酎

本格焼酎

むぎ焼酎
発祥の地『壱岐』
歴史の島 伝統の味



むぎ焼酎壱岐い 18 (25度)



壱岐スーパーゴールド22 720 ml (22度)



最高金賞 松永安左エ門翁 720 ml (43度)

むぎ焼酎壱岐は、これからも商品の品質向上に努め、皆様のご期待にお応えすべく、一段の努力と挑戦を続けてまいります。

◎お酒は20歳になってから。◎お酒は適量を。◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう



玄海酒造株式会社

代表取締役会長 山内 賢明 代表取締役社長 山内 昭人 常務取締役 山内 博達

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西550-1 TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211 ホームページ www.mugishochu-iki.com

「東部重工業」



吉田社長

東部重工業（千葉県浦安市、社長吉田牧男氏）は大型貨物船や港湾・産地などでの荷役作業に使うグラブバケットの専門最大メーカーです。一九六三年の創業以来四十七年目を迎え、今や他の追随を許さない揺るぎない地位を固めて、時代のニーズに対応しています。社長の吉田さんは佐世保市の出身です。

グラブバケットは、港湾や原料等の産地で船舶のクレーン・陸上クレーンに取り付けて穀類や石炭、鉄鉱石等の積み・揚げ荷役を使用する運搬機械で、その用途は広範で世界各地に及ぶ。まさに世界市場を相手にしたグローバル企業といえます。さらに経営基盤を強固にしユーザーの要求にスピーディーに対応する狙いで、昨二〇〇九年六月には新たに浦安工場を完成。十月には地元浦安市長や取引先、佐世保市など関係者多数を招いて大々的に工場落成・新製品発表実証テスト・披露パーティーを開きました。

これにより同社の生産拠点は本社工場（浦安市）、船橋工場（船橋市）、佐世保工場（佐世保市）、武雄工場（佐賀県武雄市）と併せて5つとなり、生産能力は一

気に50%以上も拡大するそうです。この新浦安工場は敷地面積が約5500㎡。機械化、IT（情報機械）化、省力化、セキュリティ（企業保安）を徹底し、生産効率の向上を目指しています。同社最大規模で加工から組み立て、出荷まで可能な一貫量産工場となります。

本社工場は今後、海外ネットワークづくりなど多様なニーズと分業化トレンドにも備えた研究開発拠点とする考えです。吉田社長は「オンリーワンであると同時に、ユーザーニーズを先取りして謙虚に研究開発に取り組み、お客さんと協力しながらスピーディーに対応する体制にしたい」との姿勢を鮮明にします。さらに「これで九州と関東の2大拠点体制が整った」とも語り、地元長崎に貢献しつつ、次の飛躍に向けた強い決意が伺えます。

最後に地元長崎県に対して吉田社長は「情報公開を敏速に行い、同時に東京でも幅広い人脈を開拓して欲しい」と期待と注文をしています。

（文…牧山康敏、
写真…宅島正二）



【事業内容】 グラブバケット、コイルフリーター、ホッパー、吊具など荷役運搬機械の製造販売
 【本社】 千葉県浦安市北栄4の12の20 電話：047・352・5311
 【従業員】 グループ企業含め約100人（徹底した機械化・省力化による少人数体制で最大効率を目指す）

趣味あれこれ



「釣りとは私」

その3 神子元島のワラサ釣り 南野 徹

なくなってしまう程でした。
釣った魚2本は家に持ち帰り、
したが4本は現場に送って、現
場の皆さんと食べました。その
後、都立大学の工事は12月に工期
内に引き渡す事が出来ました。パ
ブルの最盛期に行った工事で、都
庁などの大型工事と重なり、物不
足、職人不足からお金が足りなく
て色々苦労はありましたが、今回
の釣行のように良い事もあり、懐
かしい現場の一つでもありました。
(当クラブ常務理事)

都立大学(現首都大学東京)キ

ヤンパス工事の通産受電検査を無
事済ませてその週末、私の釣りの
師匠である岡本研碩の岡本社長と
神子元島のワラサ(出世魚ブリの
手前)をねらうために釣行した。

釣りの道具は朝出勤前に東京駅
の大きいロッカーに入れ、夕方の
電車で下田へ向かう。竿は小笠原
でカンパチに折られた竿を修理し
て、リール共々大物に対応した道
具一式だった。

朝5時出航、神子元島までは航
路20分ぐらいで、ワラサを狙って
数多くの船が群がっていた。船長
の合図で仕掛けを降ろしタナを取
り、当たりを待つ、それを何回か
繰り返しているうちに、隣の船に
当たりがきて当船にも当たりが来

るようになった。私もそれを何回

か繰り返しているうちに強烈な当
たりがきた。他の人と祭らないよ
うに速度を速め、慎重に巻きなが
らやりとりをして3.5キロオー
バーのワラサを取り込む事が出来
た。

この日は魚影が濃く皆に釣れて
0の人はいなかった。私はなんと
3.5〜4キロのワラサを6本釣
ることが出来、釣りを十二分に楽
しむ事が出来た。都立大学という
大型工事の通産受電の検査を、無
理は承知で、徹夜で足場の解体工
事を強行させて、無事合格できた
後の休みで最高の釣果をあげるこ
とが出来た満足感で一杯でした。
ただし、6本ものワラサと格闘し
た両腕はパンパンになり力が入ら

新人会員自己紹介

◆ お名前(よみか)

- ① 生年月日
- ② 現職・略歴(職歴など)
- ③ 長崎との関係
- ④ クラブへの要望
- ⑤ 連絡先
- ⑥ Eメールアドレス

◆ 奥土居 美可(おくどい みか)

② 歌手

③ 佐世保ふるさと観光大使・父は
大村在住

④ 全国各地でライブをしますので
各地の人々と交流ができ、全国に
素晴らしいお友達ができました。
東京でもっと大きくなれましたら
長崎の皆さんにも喜んでいただけ
ると思って頑張っています。

www.guenbs.com



ふるさと
遠めがね

長崎市制施行 120 周年 記念里帰りコンサート ～大還暦～

平成21年10月10日、心配していた台風も逸れ、秋晴れの稲佐山公園野外ステージにおいて、長崎市の120歳をお祝いする「長崎市制施行120周年記念里帰りコンサート～大還暦～」が、さだまさしさんをはじめ長崎にゆかりのある多数のアーティストが出演するなか、盛大に開催されました。

音楽を通して長崎のまちを元気にしようと、前日までのおくんちの勢いそのままに、「もってこーい」の掛け声に、紋付袴姿のさださんが登場し、「長崎小夜曲」「がんばらんば」2曲を熱唱。田上市長も「長崎にいる人、そして外から長崎を応援してくれる人が一緒に祝い、素晴らしい長崎を次の世代へ繋げていきたい」とオープニングの挨拶を述べました。

出演していただいたアーティストは、「時をかける少女」でお馴染みの原田知世さん、サクソ奏者で著名な平原まことさんと素晴らしい歌声の綾香さん親子、会場を大爆笑とした

ものまねのコロッケさん、可憐な歌声の中国上海出身amin（アミン）さん、そして、佐田玲子さんとチキンガーリックステーキさん。大河ドラマ「龍馬伝」主役の福山雅治さんからは声のメッセージが届き、コンサート終盤にかかると、「長崎は今日も雨だった」の前川清さんがサプライズとしてステージに駆けつけてくださるなど、それぞれの持ち味を最大限に活かした豪華絢爛で楽しいコンサートになりました。

また、コンサート運営は、多くの市民団体の方々にボランティアとして支えていただき、保育園児の龍踊りや小学生の合唱など多くの市民参加もあり、市民の皆さんと一緒に作り上げることができたものと思います。

とりを務めていただいたさだまさしさんの出番の時には、辺りは薄暗くなって、肌寒さを感じましたが、会場は熱気に溢れ、終了予定を1時間オーバーするなど思い出に残るコンサートとなりました。（長崎市東京事務所長 神近宣博）

～～～長崎関連イベント予告～～～

名 称	代表者	日 時	場 所	連絡先	
2010 長崎ランタンフェスティバル		22.2.14 (日) ～2.28 (日)	長崎市・湊公園ほか5会場	長崎市東京事務所	03-3591-7600
県人クラブ講演会	光安 一夫	22.3.23 (火)	県人クラブ	県人クラブ	03-5366-4888
長崎商業高同窓会関東支部	大町 武俊	22.5.22 (土)	未 定	伊藤 六夫	090-3315-7076
猶興館高同窓会東京支部	前田 昭夫	22.5.29 (土)	グランドプリンスホテル赤坂	大石 郁夫	03-3586-5211
平戸高同窓会東京首都圏支部	加藤 澄敏	22.6.13 (日)	日本出版クラブ会館	松山 宗一	047-412-9540
東京北星会 (佐世保北)	川崎 敏明	22.6.19 (土)	グランドアーク半蔵門	堀口 清澄	048-838-3578
佐世保工業高	八坂 撃止	22.5.29 (土)	ナビオス横浜	八坂 撃止	043-862-1961
東京柏葉会 (佐世保南)	浦松 敏和	22.7.10 (土)	目白 椿山荘	久保 恵宣	047-392-2838

ザルツブルグの旅

男澤 浩一

長崎県人クラブ理事
日本モーツァルト協会会員（K437）

生家がザルツァッハ川のほとりにあります。更に、ミュージカル映画の傑作「サウンド・オブ・ミュージック」の舞台になったのもこの街で、スクリーンで見覚えがある場面を随所に確認することが出来て、とても懐かしい思いをします。

ここザルツブルグでは、毎年夏に有名な音楽祭が開催され、ウィーンフィルをはじめとする世界のトップオーケストラ、指揮者、ソリストが集い、数ある音楽祭の中で最も贅沢な音楽祭に位置付けられています。四年前の二〇〇六年はモーツァルト生誕二百五十年にあたり、夏の二ヶ月間で彼が作曲したオペラ（二十一作品）の全てが上演されるという快挙がなされました。私もこの年には、ここに一週間滞在して音楽祭に浸って参りました。

何回か訪れているうちに、この街に愛着を持つようになって参りましたが、一つ残念なことは、日本で食べられるような新鮮な魚を食することが叶わないことであります。次の機会には、ザルツブルグ郊外の湖水地方『ザルツカンマーグート』についてご紹介したいと思います。

音楽の都ウィーンの西方三百キロに位置するザルツブルグは、面積六六㎢、人口十五万人ほどの小さな街で、中央を流れるザルツァッハ川を挟んで、新・旧二つの市街に分かれています。旧市街の高台にはザルツブルグの象徴とも言えるホーエンザルツブルグ城がそびえ、旧市街の歴史地区は一九九六年に世界遺産に登録されており、この街の名「ザルツブルグ」は『塩の城』を意味しており、大司教領だったこの街は、塩（膨大な岩塩）を支配することによって膨大な富を得て繁栄したのであります。

この街を語るには、神の子と言われる天才作曲家モーツァルトを抜きには出来ません。彼は今から二百五十四年前の一月にこの地に誕生し、三十五年の短い生涯を閉じるまで、公式（ケツヘル番号）に記録されているだけでも六百二十六の作品を残しています。旧市街にはモーツァルトの生家、モーツァルト広場に立つモーツァルト像、大聖堂には彼が弾いたとされるパイプオルガン、新市街には彼が十代後半に過ごした住居が今も残っています。

また、近代クラシック音楽界で一世を風靡したマエストロヘルベルト・フォン・カラヤンもこの地ザルツブルグの生まれで、今も



平成21年度長崎県人会総会が 開催されました

12月10日(木)グランドプリンスホテル赤坂において、平成21年度長崎県人会総会が開催されました。

相川会長から「ふるさと長崎県の発展をこれからも見つめていこう」とご挨拶があり、今期限りの引退を表明している来賓の金子原二郎長崎県知事を壇上に招き、これまでのご尽力に感謝の意を表されました。

懇親会では、約400名の方々が長崎和牛やごんあじ、五島手延うどんなど地元の食材を味わいながら、演歌歌手の神野美伽さんのミニコンサートで大いに盛り上がりました。また、地元から県、県議会および各市町をはじめ、長崎県ゆかりの民間企業等から200点を超える景品が提供され、たいへん賑やかな会となりました。

(長崎県東京事務所 門司英樹)



第36回 東京佐世保会 「ふるさと佐世保のタベ」開催

第36回 東京佐世保会総会(ふるさと佐世保のタベ)は、平成21年11月6日(金)、昨年と同様に西新宿のハイアットリージェンシー東京で、盛大に開催されました。

参加者、約270名となった会では、元NBCの司会者であった加藤沙智子(佐世保西高)さんの司会で始まり、小野会長の挨拶、監査報告の後、来賓の朝長則男佐世保市長、北村誠吾衆議院議員および浦日出男佐世保市議会議長の挨拶がありました。

八坂撃止佐世保工業高支部長の乾杯で懇親会が始まり、今年のイベントは、昨年に続き「佐世保観光ふるさと大使」でもあるサンデイトリップ(平成11年1月結成の佐世保市在住の男女ユニット)に若々しく素晴らしい歌を披露していただきました。その前に、常任幹事の北崎昭子さん(聖和女子学院出身)・さかいよしほさんによるタップダンスの若々しい姿が喝采を浴びていました。そのあと、恒例のサンメール佐世保の美女二人による佐世保の宣伝も行われました。

恒例の福引き抽選は、会長賞と市長賞・市議会議長賞をその場で抽選し直接手渡しました。佐世保商業校和田修平副会長より閉会の

挨拶があり、お開きとなりました。

全員にお土産を渡しましたが、今年は、趣きを変えて佐世保オリジナル特産品(福袋)と銘打って中身は少々違うものでした。一ぎんた巻き(鯛やあご等)、鯛めしの素(炊き込みご飯用)、あごステイック、ぼると(菓子)、陶磁器(三川内焼き)等の郷土の名産品―と提供品のチョコレート小瓶醬油が入っていて時価3000円相当の詰め合わせでした。

また、会場には佐世保の物産出店の玉木屋・大谷商店が、てんぷら・あご・かんころ餅等の佐世保の名産品を販売し、大変好評で全部売り切れました。

今年は、例年より50名ほど参加者が多く、初めて作成した「東京佐世保会」の職を立て、華やいだ雰囲気となりました。今年次のトピックスは、次の3点です。

❶ 今年から佐世

保西高校の皆様が初めて正式参加されましたこと

❷ 名札に出身高校でなく、出身中学を銘記しましたので、新たな集まりがありました。

❸ 土産品は、佐世保の(株)宇久食品に予め包装していただいたため、詰め合わせ作業が大幅に軽減しました。

皆様の多大なご協力に感謝しますとともに、来年もより多くの皆様にお集まりいただきたいと願っております。

(今村勝義・佐世保市出身)



トピックス

永年会員懇談会

本年も永年会員懇談会を平成21年10月24日(土)の午後、開催しました。この懇談会は年齢が80歳以上の会員の方々の永年にわたるクラブへの貢献に感謝する意味で、昨年から開催しています。

本年はクラブの入居しているビル内の「出島厨房」に、藤田静馨さん(93歳)をはじめ8名の方々に集まっていただきました。

会食しながら出身地の思い出や最近のできごとなどに話がはずみました。

現役関係者は藤島常務理事・事務局長、南野常務理事、吉田常務理事ら10名が出席しました。

出席された永年の方々のお名前(50音順、敬称略)阿比留七三蔵、上野實、加藤敏夫、土谷尚徳、福嶋等、藤田静馨、宮城孝、本川真澄(写真…宅島正二、文…内堀勝之)

長崎東高在京同窓会

第37回長崎東高在京同窓会は例年6、7月に開催していましたが、今年は9月26日(土)の午後の開催でした。残暑が気になる時機とはいえ、当日は爽やかな秋風を肌を感じる最高の総会日和に恵まれました。会場は恒例の虎ノ門パストラル。

「龍踊り」の演舞を行なうには天井も高くゆったりとした申し分のない会場でしたが、総会翌日で営業終了。恐らく数年後にはまた新たな建物に生まれ変わるのでしょうか。今年から長崎東高在京同窓会は「東高卒業生の集い」を最大のテーマと致しました。従来長崎市内の他校の方に案内を差し上げ、出席していただいておりますが、十分なもてなしができませんでしたが、改善されず一番の悩みでありました。その旨他校の皆様にも事前にお伝えしましたところ快い回答をいただき、新たな総会運営となりました。

当日は二百四十名近くの出席がありまして、まずまずの出足であったと思います。

はるばる故郷長崎から米倉源蔵校長・毛塚堅太郎同窓会会長の出席をいただき、さらに招待恩師の

庄司・葛城亮先生、自費参加の常連山田先生。東高福岡同窓会からも瀬戸口さんも駆けつけ、多彩な顔ぶれが揃いました。恒例の東龍倶楽部の「龍踊り」もすっかり「東高の顔」になりつつあります。手塚会長も飛び入りで太鼓を叩かれました。

総会の締めくくりは西山校舎時代の先輩三回生による巻頭言(前口上)が会場の雰囲気グッと引き締まりました。二回生、四回生の応援、東高アンサンブルの皆さんの共演で会場内は一段と盛り上がり、全員での校歌斉唱!! これぞ青春なり!! 歌い終えた後の皆の顔は自信と満足感に満ちていました。

東高卒業生としての誇りと団結を全身に感じ感無量の中で終了。改めて先輩たちの情熱と底力に感謝。(長崎東高在京同窓会会長 下田浩六)



松浦高等学校同窓会 関東支部総会・懇談会が開催



平成21年11月8日松浦高校同窓会関東支部総会・懇談会が開催されました。「やあー久しぶり振り、元気だった」と再会を喜び合うとともに、親しく語り合いました。同窓会本部の玉城会長および北浦校長先生から平成23年の創立50周年に向け、いろいろな取り組みを行っていることや、校歌作成の記録ビデオ紹介が行われました。

また、参加者の加藤勇次さんがベンチプレス競技で世界新記録を何度も更新していることが紹介さ

れ、全員の感動を呼びました。加藤勇次(昭和42年卒、松浦市御厨町出身)さんは高校生のときに始めたウェイトトレーニングを契機にトレーニングを継続、50歳を過ぎてからマスターズ大会(スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会)に出場、日本代表として世界大会に7回出場し、6回優勝、1回準優勝されています。現在、日本、アジア、世界の記録保持者です。

9月の全日本大会で世界記録(181キロ)を更新し、平成22年の世界大会出場権を獲得され



ており、「長崎県出身者として誇りを持って記録更新に挑戦する」と熱い胸の内を語ってくれました。(松浦高校同窓会関東支部 名誉会長 小出文重)

在京長崎県下高校 同窓会代表者の集い

第11回目の在京長崎県下高校同窓会代表者の集いが平成21年11月20日(金)に浜松町貿易センタービル38階の浜松町東京會館にて開催されました。本年は初参加の清峰高、長崎女子高(旧鶴鳴高)、小浜高を含み計31校の代表の方々が顔を揃えました。特に清峰高は昨年春の選抜高校野球大会で長崎県勢としては初の優勝校でしたので代表の方も意気盛んでした。

今回はテーブル席を試みましたが隣同士に着席された方々はより親密な情報交換が行われたものと思われまふ。

(写真：宅島正二、文：内堀勝之)

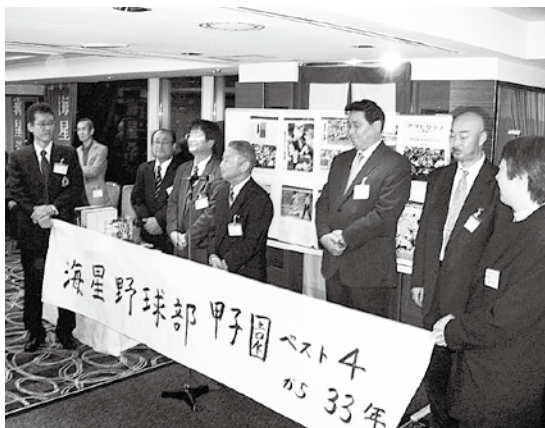


平成21年度東京海星会総会の開催

11月14日、東京都千代田区紀尾井町のホテルニューオータニ本館16階「タikanエン ラピス エル」で午後6時から「平成21年度東京海星会総会・懇親会」が開催されました。

同会には長崎の海星学園から山崎理事長、井口事務長の2名、在京の長崎西、工業、商業の各代表者、長崎市東京事務所の炭木係長、姉妹校の暁星学園同窓会の役員等に出席いただきました。今回は、特に海星創立以来117年目にして誕生した女子の卒業生も初参加し、大いに盛り上がりました。

同会は、最初に本年度に亡くなられた



た方々のご冥福を祈るため黙祷がさげられ、その後、中西俊雄東京海星会会長が挨拶、引き続き総会の議事に入り、滞りなく総会を終了し、その後懇親会に移りました。

懇親会では、進行役が29回生だったこともあり、彼らの在学時代に甲子園でベスト4に入ったことから「海星高校野球部 甲子園ベスト4から33年」と銘打って、その当時の監督、選手(ヤクルトの酒井元投手をはじめとして)も参集し、その当時の話に花が咲いていました。また、恒例の抽選会では、液晶テレビの当選数が2本に増え、大いに盛り上がっていました。

(江頭康伸)



トピックス

雪州会総会に200人集う 心強い若い人の参加増…



東京雪州会の平成21年度定時総会と懇親会が平成21年11月1日、東京プリンスホテルで開かれ、会員・来賓ら二百人で賑わった。雪岐市から白川博一市長、山口壮三県議や各主要団体首脳、また長崎県関係者、各地区雪岐人会長らが出席したほか、若い人の参加も目立ち、心強い限りである。

冒頭、山内賢明会長が「平成22年3月14日にオープンする原の辻遺跡の雪岐市立一支国博物館と県埋蔵文化財センターを起爆剤に雪岐活性化のため東京雪州会としても協力していきたい」と挨拶。また総会の席上、山内会長から白川市長に対して「雪岐市緑化寄付金」の目録が手渡された。これは地球温暖化対策と雪岐の自然景観を護る立場から平成18年度から毎年寄付しているもの。

懇親会では雪岐市の各方面から寄せられた多くの景品による福引抽選会で大いに盛り上がり、故郷雪岐の香りが会場一杯にあふれる楽しい一日を過ごした。

(東京雪州会副会長兼幹事長 牧山康敏)

第19回長崎南高校関東同窓会

2009年夏の盛り7月18日(土)にANAインターコンチネンタルホテル東京の宴会場で19回目の長崎南高校関東同窓会を開催いたしました。未曾有の経済危機と言われた今年、例年のような参加者は見込めないだろうと当初予測していましたが、その予測は大きく外れ、昨年を越える約180名の参加者が集まり、盛大な会が催されました。

今年のテーマは、「Summer音*楽*祭 Sing Sing Sing」と銘打ち、幹事生である16回生有志によるロックバンドの生演奏であ

の頃の懐かしい曲を堪能致しました。今年他界した忌野清志郎の「雨上がりの夜空」や「心の旅」をみんなで絶叫し、「ジョニーBグッド」や「ファンキーモンキーベイビー」に合わせて踊りました。多くの方々に踊っていただき、歌っていただいたひと時でした。

その後、参加者と母校南高校の益々の発展を記念し、校歌と万歳三唱で締めくくられました。今年も大成功、来年を期待しております。

(実行委員長 中島康雄・16回生)



東京柏葉会 第19回同窓会(総会・懇親会)

東京柏葉会が本年度も7月4日(土)目白の椿山荘で開催されました。平成3年の初回から数え第19回目の総会は、天候にも恵まれ会員241名、来賓・恩師の方々20名を加えた合計261名の大勢の方にご参加いただきました。

●総会

今村幹事長の司会進行で、吉田会長の挨拶、会計報告、監査報告の議事が進行された後、今年度は役員改選を行い、新役員の承認がされました。

●講演会

講師：津田堅之介(第31回生)
講演テーマ：「中国・ネパール・エクアドル 野生動物と夢を追い続けて」

講演者の津田堅之介さん(31回生)は幼少からの動物好きで日本を代表する生物生態写真家、栗林慧(さとし)さんのもとで修行後、動物写真家、エッセイスト、学校講師として活躍中です。今回も自身が撮影された写真のスライドを使って面白く、興味深い講演を聴くことができました。

●開会・来賓挨拶

東京柏葉会吉田会長の開会挨拶、来賓として柏葉会本部の内海会長を始め、青崎佐世保南高校長、佐世保市の朝長則男市長(19回生)

よりご祝辞を賜り、その他福岡柏葉会も本山会長、関西柏葉会深本副会長、旧制佐世保中学、佐世保北高校、大村高校、長崎西高校、長崎県人クラブ等から多数のご来賓に参加頂きました。

●乾杯

乾杯の音頭は、佐世保中学33回生の本川真澄さんの発声で行われました。

●閉会

閉会にあたり、新旧役員の挨拶を行いました。

これにて19回東京柏葉会も無事終了、皆で次回「平成22年7月10日(土)開催予定」の再会を約束し、散会となりました。

(幹事長 今村勝義)



長崎工業高校 関東支部同窓会総会

平成21年11月14日、第30回長工関東支部同窓会が開催されました。

今年は造船科、工業化学科、木材工芸・インテリア科が担当幹事科となり第三十回と云う節目の年でもあることから、早くから準備委員会が結成され、会場は笹川記念会館で開催されました。

朝方の雨の影響もなく、本部からは三田村信義会長、関西支部から出口大賢事務局長、母校から森岡義幸校長をはじめ多数のご来賓・同窓生の参加を得て、八十五名が集い、総会後の懇親会、有志参加の二次会と楽しいひと時を過ごしました。

今年は更に、三十周年を記念して、ハタとタオルの製作が進められ、記念ハタは会場への掲示、記念タオルは参加者全員へ進呈され、同総会に華を添えたように思われます。

総会では新体制となった松尾剛会長より、新体制の意気込みを感じる挨拶があり、山口和孝事務局長からも今年及び、来年の活動内容が報告され、パワフルな若い体制となった事が会員の皆様の心にも感じ取られたようです。

又、母校・森岡義幸校長から在校生の活躍が紹介され、長

工卒業生であることを誇りに思う場面もありました。

来年は、情報技術科卒業の福山雅治さんが龍馬伝の主役を演じることで、会場には「福山、大河、龍馬。」とポスターも掲示され、その前で写真を撮られる輩も居られました。今から楽しみです。

今度は是非、総会に参加されるようお願いしたいものです。

イベントでは、本校卒業生「島原観光大使」の城谷護さんの腹話術（ゴローちゃん）、「佐世保観光大使」のジャズシンガー奥土居美可さんのすばらしい歌、抽選会と楽しく、華やかなひと時を過ごす事が出来、この世知辛い世相を跳ね返す「元氣を戴いたようにも見受けられました」。

老いも、若きも、年に一度この総会に集い、同じ釜の飯を食った仲。美味しいお酒を酌み交わしながら語り合い、追われる毎日からちよつとだけ離れた空間がそこにあつたようです。

会も終わりに近づき、手締めは来年の担当科（機械科）を代表して、坂本貞好さんにお願いました。来年は、今年参加出来なかった廻りの友、先輩、後輩へ声を掛けて戴き、本年以上に盛り上げて行くことを期待してお開きとなりました。

昔から「鶴は千年、亀は万年」と云われており、長寿・長生きの象徴でもあります。我が母校の校章は鶴です。

「二富士、二鶴、三に鶴、八羽の鶴が未来に羽ばたく、関東支部同窓会」。皆さん元気で頑張りましょう。



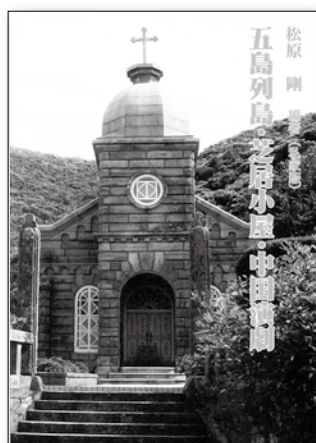
新刊紹介

私家版

『五島列島・芝居小屋・中国演劇』

松原 剛 編著

（五島出身、元当クラブ常務理事・顧問）



- A5版 約184頁
- 第1部 五島列島讃歌
- 第2部 甞れ芝居小屋
- 第3部 中国演劇交流
- 【連絡先】

〒178-0006

東京都練馬区大泉学園7-7-30

松原 剛

『対馬国志』刊行委員会 刊

永留 久恵 著



- 戦後、対馬における数々の考古・歴史・民俗調査に携わった著者が、対馬の通史をアジア史のなかに位置づけ、古代から現代まで通史として叙述した対馬学の集大成。次世代に伝えたい「志」
- 第1巻 原始・古代編（定価3800円）
— ヤマトとカラの狭間で活きた対馬 —
- A5版 約500頁 写真500枚
- 第2巻 中世・近世編（定価3400円）
— 武門の興亡と対馬の交隣 —
- A5版 約410頁 写真100枚
- 第3巻 近代・現代編（定価2200円）
— 戦争と平和と国際交流 —
- A5版 約250頁 写真24枚 年表
- 【連絡先】
- 〒817-0012
- 長崎県対馬市厳原町日吉265-12
- 電話&FAX 0920-521-5230
- 「対馬国志」刊行委員会 永留 史彦様方
- 東京連絡先電話 090-3222-9210（白石）



図 書 紹 介



長崎の諏訪荘と保存運動 = 諏訪神社への移築の経過 =

鎮西大社諏訪神社 諏訪荘保存会

発行 平成二年四月十四日 発行所 鎮西大社諏訪神社

当時、諏訪荘移築に尽力された加藤敏夫さん(当クラブ会員)の「諏訪荘移築竣工のよろこび」という一文を掲載します。

諏訪荘本館の諏訪神社境内への移築工事が、本日めでたく完成、竣工祭を執り行われるにあたり、かかわった者として一言ご挨拶を申し述べることを、大変光栄に存じます。

現在私は、千葉県市川市に在住いたしておりますが、もともとは長崎市内の出身でございます。

たまたま、昭和六十二年の初夏の頃、諏訪荘保存会の松田崎一様より、ご相談を受け、諏訪荘本館を長崎の文化的遺産として永く保存したい、というお話がございました。

当時の状況下での保存については、いろいろと、困難も予想されましたが、沈黙考の末、「誠を尽くしてことに当たれば、道自ら開く」という気持ちでご協力することに決意いたしました。

結果、紆余曲折もございましたが、最終的には上杉宮司様のご高配により、諏訪荘本館を参百六十年の歴史と、長崎市民の氏神様である諏訪神社の境内に移築し、永く長崎の文化財として後世に伝えることに相成った次第でございます。

長崎国体への星

みそかなおこ

晦日尚子さん(大村高・早稲田大学)

2009年12月12日、東アジア競技大会(香港)にて

ボート競技決勝が行われ、軽量級女子ダブルスカル(坂東慧子さん・中部電力)晦日尚子さん(大村高校・早稲田大学)が中国と終始接戦を展開しわずか1秒05差で金メダルを逃し、銀メダルを獲得。

9月27日から30日、新潟県阿賀町津川漕艇場で開かれた「第64回国民体育大会ボート競技会―トキめき新潟国体」で、成年女子シングルスカルで優勝し、長崎県の総合得点に貢献した。

大村高校時代もインターハイでも準優勝し、現在早稲田大学2年生、今年の全日本選手権のW4X+で優勝。チェコで行われた、世界選手権大会U23、LW4Xで6位入賞と大活躍した。

日本ボート協会のヘッドコーチマックスによると「20歳で将来に大いに期待を抱かせる」。

先の在京大村高校同窓会に招待され、先輩の皆様に大歓迎を受けていました。平成26年開催第69回長崎がんばらんば国体の期待の星である。



金型用部品・パンチ・ピン

株式会社 スガモ技研

代表取締役 福田邦昭 (平戸市大川原町出身)

〒341-0012 埼玉県三郷市半田1028-4

電話 0489(57)4111(代)

FAX 0489(57)4123

営業
品
目

冷間鍛造パンチピン

モールド型用コアーピン

プレス型用パンチピン

プリント基板金型用パンチピン

その他



McCafé™

| CAFÉ LATTE ⑤¥190 | CAPPUCCINO ⑤¥190 | CAFÉ MOCHA ⑤¥250 | CARAMEL LATTE ⑤¥250 |

限定店舗でスタート

※限定店舗でのみの販売となります。販売店舗はお客様サービス室・弊社ホームページでご確認いただけます。
【お客様サービス室】0120(010)916【受付時間 9:00-17:00】【ホームページ】<http://www.mcdonalds.co.jp/>

